



【図書館歳時記】「戊辰戦争から150年」

3月25日、JRいわき駅北口の交通広場に「戊辰戦争・いわきの戦い」150周年記念パネルが設置され、披露式が催されました。今年、平成30（2018）年は戊辰戦争から150年、大きな節目の年に当たります。戊辰戦争の際には、いわきの地でも慶応4（明治元、1868）年の6月から7月にかけて、市内各地で激しい戦いが繰り広げられました。6月16日、薩摩藩などの新政府軍が三艘の軍艦で、北茨城の平潟に上陸。その後、九面の戦い、泉城の戦い、新田坂の戦い、二ツ橋の戦い、中之作の戦い、湯長谷城の戦い、堀坂の戦い、七本松の戦い、そして、磐城平の戦いと、約1か月にわたり、戦いが続きました。

ラトブ5階、いわき総合図書館の地域資料コーナーでは、現在、いわきの戊辰戦争を取り上げたスポット展示「泉城をめぐる戦い」を開催しています。どうぞ、ご覧ください。いわき総合図書館長 夏井芳徳

おすすめの本紹介

「フィギュアほど泣けるスポーツはない！」

織田信成 || 著 KADOKAWA



この本の著者は、平昌オリンピックで感動のあまり号泣していた姿も記憶に新しい、織田信成さんです。ご自身の競技人生と、羽生結弦選手、浅田真央さんの魅力について、織田さんの人柄がにじみ出るような、楽しさと熱さと優しさで語っています。小さい頃はフィギュアなんて嫌いだったという、意外な話など、ユーモアたっぷりの語りで堪能できます。松岡修造さんとの「熱血スケート対談！」も読みごたえ十分…、互いに元トップアスリート、現在は指導者でもある二人の意外な共通点「挫折感」についての熱い語り興味深い一冊です。

「こんな上司となら仕事がしたい」

児玉光雄 || 著 河出書房新社



この本は、今年1月に亡くなられた星野仙一さんが阪神監督退任後の2007年に発売されましたが、今年2月に再版されたものです。主に阪神時代の事柄を中心に書かれており、当時の阪神に染み付いた負け癖の克服や、選手の「やる気」をいかに引き出し、どう「自信」を植え付けるか？などの方法が書かれています。「叱る」「褒める」のタイミングや、コーチ陣・選手に対する仕事の任せ方、一生懸命プレイした結果のミス、結果を出せずに辞めていく選手に対する気遣い等、新年度に向け、人間関係を構築する上で参考となる一冊です。

「余命3か月のフランス料理店」を再生させた26の経営レシピ

氏家秀太 || 著 日本実業出版社



ストーリーは30年続くフランス料理店の先代オーナーが病に倒れ、一人娘である女子高生の宇保木望海がお店を引き継ぐシーンから始まります。経営学のことを何も知らない望海が、謎のコンサルタントの更家に指南されながら、「余命3か月」と宣告された絶体絶命のビストロをV字回復させていきます。この本では、300店を超える赤字店を黒字店に立て直してきた著者が確立した、経営戦略や客選びなど、実践的な手法を余すことなくストーリーの中で紹介しています。経営学をまったく知らない人でも読みやすいビジネス小説です。

「今日 -Today-」

伊藤比呂美 || 訳、下田昌克 || 画 福音館書店



「今日、わたしはお皿を洗わなかった」から始まる、「今日 -Today-」という詩は、ニュージーランドの子育て支援施設の壁に貼ってあった「詠み人知らず」のものです。訳者の友人が、疲れはてた、でもがんばって子育てをしている日本の母親たちに伝えたいと、写して持ち帰り出版されました。

子育て中は、なんでも完璧にできるわけではなく、お皿も洗えない、洗濯しても干せない量もない、ご飯だって適当に…。それでも、赤ちゃんを慈しんで育てているなら大丈夫と、母親たちを励まし、素敵な挿絵で心を癒す一冊です。

貸出 TOP10

1	祈りの幕が下りる時	東野圭吾 著	講談社
2	コンビニ人間	村田沙耶香 著	文藝春秋
3	人魚の眠る家	東野圭吾 著	幻冬舎
4	蜜蜂と遠雷	恩田陸 著	幻冬舎
5	恋のゴンドラ	東野圭吾 著	実業之日本社
6	虚ろな十字架	東野圭吾 著	光文社
7	希望荘	宮部みゆき 著	小学館
8	陸王	池井戸潤 著	集英社
9	異形のものたち	小池真理子 著	KADOKAWA
10	この世の春 上	宮部みゆき 著	新潮社

予約 TOP10

1	おらおらでひとりいぐも	若竹千佐子 著	河出書房新社
2	マスカレード・ナイト	東野圭吾 著	集英社
3	蜜蜂と遠雷	恩田陸 著	幻冬舎
4	キラキラ共和国	小川糸 著	幻冬舎
5	漫画君たちはどう生きるか	吉野源三郎 著	マガジンハウス
6	九十歳。何がめでたい	佐藤愛子 著	小学館
7	おもかげ	浅田次郎 著	毎日新聞出版
8	屍人荘の殺人	今村昌弘 著	東京創元社
9	日の名残り	カズオイシグロ 著	中央公論社
10	かがみの孤城	辻村深月 著	ポプラ社

知っていますか？便利な図書館機能



【新着資料お知らせメールサービスを知っていますか？】



図書館のホームページでマイページにログインし、メールアドレスを登録したついでに、新着図書メールや新着雑誌メールのタブをクリックして、あらかじめ自分の興味のある本のジャンルやキーワード、雑誌名を登録すると、その内容に合った新着資料の情報をメールでいち早く受け取ることができるサービスです。好きな作家の著書や雑誌をご利用いただく際に便利な機能です。なお、登録したアドレスに変更があった場合は、忘れずに利用者情報の変更をお願いします。また、携帯電話でメールの指定ドメイン受信の設定をされている方は、「@city.iwaki.lg.jp」が受信できるよう、忘れずに設定を行ってください。

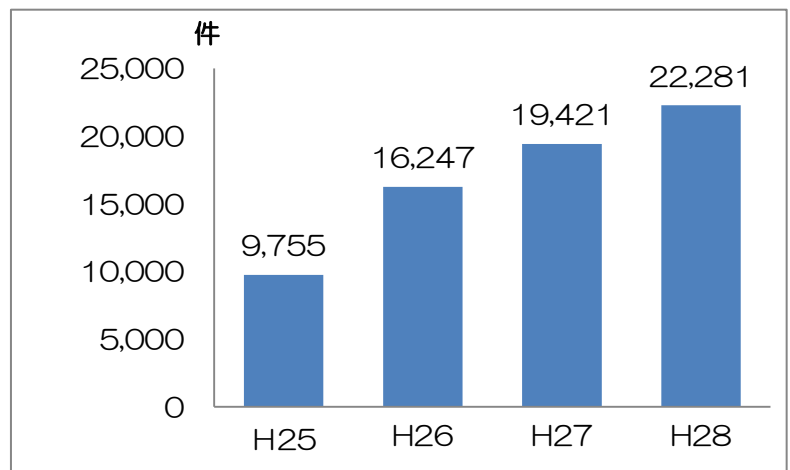
シリーズ 数字で見るといわきの図書館

【新着資料お知らせメール送信件数】

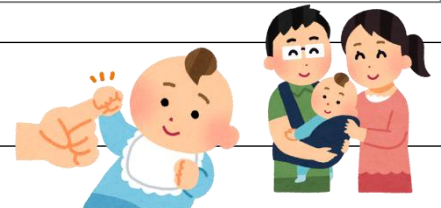
22,281 件

平成 25 年の図書館情報システムの更新から始まった「新着資料お知らせメールサービス」は、年を追うごとに認知度も高まり、送信件数が 2 倍以上に増えています。

検索の手間をかけずに、新着情報をいち早く入手して、資料へのアクセスのスピードアップを図り、読書生活の質をワンランクアップしてみませんか。



図書館豆知識



図書館では「子ども読書の日」記念事業を行います！

子ども読書の日は、平成 13 年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」の中で毎年 4 月 23 日と定められています。総合図書館では、今年も、子どもの読書活動に関心と理解を深め、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、1 歳までの赤ちゃんとその保護者を対象にした「あかちゃんへのおはなしかい」を 4 月 23 日（月）に開催します。本のおよみかせや手あそびなど、子どもと大人の両方が楽しむことができますので、ぜひ、総合図書館 4 階よみかせひろばへお越しください！